

ふくい街角景気速報

(令和4年2月分)

調査期間 令和4年2月10日～24日 (回答率：90%)

概況

景気の現状判断DIは33.3となり、前月と比べ2.0ポイント低下した。

景気の先行き判断DIは46.9となり、前月と比べ5.2ポイント上昇した。

■景気の現状判断DI 33.3 (前月比 ▲2.0)

- 家計動向関連では、前月に比べ 0.6ポイント低下した。
- 企業動向関連では、前月に比べ 4.7ポイント低下した。
- 雇用関連では、前月に比べ 0.5ポイント上昇した。

(意見の主な内容)

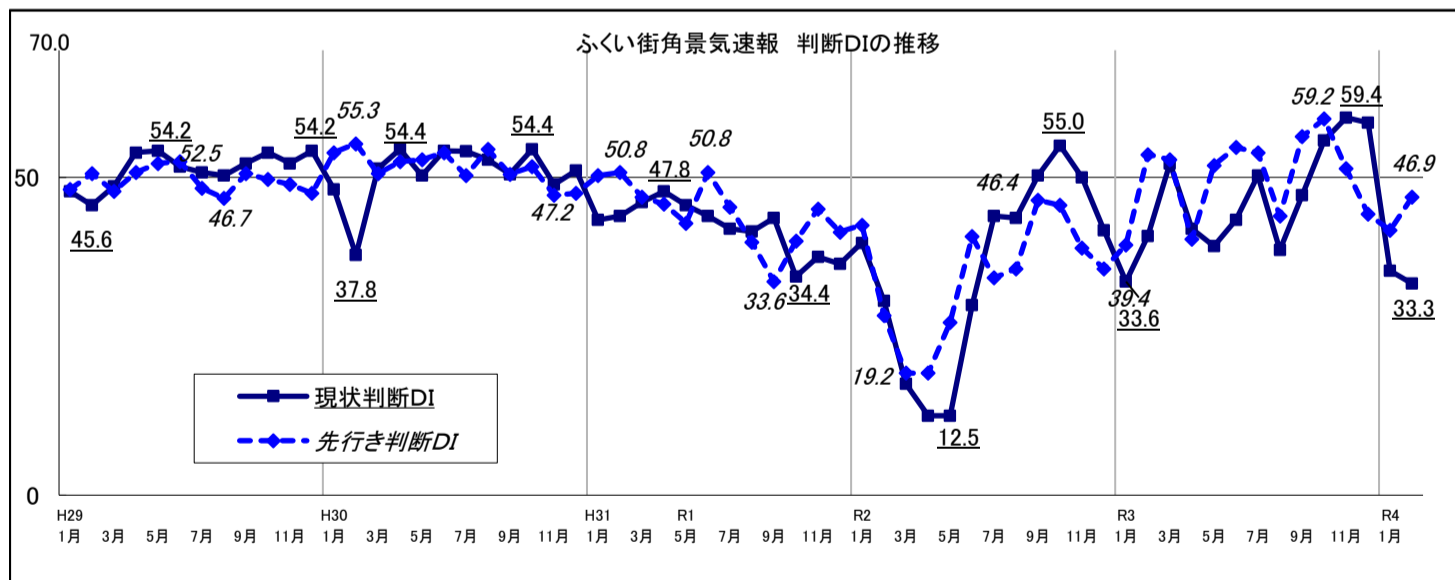
- 1月半ばから飲食店や物販店等の消費の動きが止まった。併せて近隣府県、大都市圏でのまん延防止措置による影響が甚大。(商店街)
- 燃料・材料仕入価格の上昇により収益が圧迫されている。(繊維関連)

■景気の先行き判断DI 46.9 (前月比 +5.2)

- 家計動向関連では、前月に比べ 4.9ポイント上昇した。
- 企業動向関連では、前月に比べ 6.4ポイント上昇した。
- 雇用関連では、前月に比べ 2.5ポイント上昇した。

(意見の主な内容)

- 感染者のピークアウトと3回目のワクチン接種が進むことで経済も動き出すと思われる。(観光関係)
- 半導体不足の長期化やコロナウィルスの感染状況等、先行きが不透明なため。(電気機械関連)



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	2 P
3. 判断理由	(1) 景気の現状判断の理由 3 P
	(2) 景気の先行き判断の理由 4 P
4. 参考	(1) 調査対象の構成 5 P
	(2) 調査票 6 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	11	7	3	1
奥越	大野市、勝山市	8	6	2	0
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	13	2	9	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	11	5	4
	計	100	52	36	12

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
 悪くなっている 変わらない 良くなっている

1. 景気の現状判断DI

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	R3 9	10	11	12	R4 1	2	(前月差)
合計		47.2	55.8	59.4	58.6	35.3	33.3	▲2.0
家計動向関連		39.2	51.1	61.0	57.1	26.1	25.5	▲0.6
小売		40.5	47.7	56.9	56.5	28.9	28.1	▲0.8
飲食		50.0	62.5	62.5	58.3	12.5	12.5	+0.0
サービス		33.3	59.1	70.8	58.3	20.8	20.8	+0.0
企業動向関連		55.7	58.3	55.0	56.1	44.9	40.2	▲4.7
製造業		54.0	58.3	57.0	56.3	45.2	38.0	▲7.2
非製造業		60.0	58.3	50.0	55.6	43.8	46.9	+3.1
雇用関連		52.3	68.2	66.7	72.7	45.0	45.5	+0.5

○回答別構成比

	年 月	R3 9	10	11	12	R4 1	2	(前月差)
良くなっている		1.1%	5.6%	10.0%	8.9%	3.3%	2.2%	▲1.1
やや良くなっている		20.0%	34.4%	35.6%	33.3%	7.8%	4.4%	▲3.4
変わらない		52.2%	41.1%	41.1%	43.3%	35.6%	37.8%	+2.2
やや悪くなっている		20.0%	15.6%	8.9%	12.2%	33.3%	35.6%	+2.3
悪くなっている		6.7%	3.3%	4.4%	2.2%	20.0%	20.0%	+0.0

2. 景気の先行き判断DI

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	R3 9	10	11	12	R4 1	2	(前月差)
合計		56.4	59.2	51.4	44.2	41.7	46.9	+5.2
家計動向関連		54.0	59.2	50.0	42.4	44.0	48.9	+4.9
小売		50.0	55.3	48.3	40.3	41.4	47.7	+6.3
飲食		58.3	75.0	37.5	33.3	25.0	37.5	+12.5
サービス		62.5	68.2	56.3	50.0	54.2	54.2	+0.0
企業動向関連		57.1	56.1	52.1	45.5	36.8	43.2	+6.4
製造業		57.0	54.2	52.0	43.8	37.5	43.0	+5.5
非製造業		57.5	61.1	52.5	50.0	34.4	43.8	+9.4
雇用関連		63.6	68.2	54.2	47.7	47.5	50.0	+2.5

○回答別構成比

	年 月	R3 9	10	11	12	R4 1	2	(前月差)
良くなる		2.2%	6.7%	1.1%	0.0%	1.1%	3.3%	+2.2
やや良くなる		44.4%	42.2%	33.3%	14.4%	12.2%	18.9%	+6.7
変わらない		36.7%	36.7%	41.1%	54.4%	48.9%	47.8%	▲1.1
やや悪くなる		10.0%	10.0%	18.9%	24.4%	27.8%	22.2%	▲5.6
悪くなる		6.7%	4.4%	5.6%	6.7%	10.0%	7.8%	▲2.2

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
②やや良くなっている	家計動向	福井	スーパー	オミクロン株の感染拡大により内食需要が増加している。
	企業動向	丹南	建設・不動産関連	受注が増えてきている。
③変わらない	家計動向	福井	一般小売店	コロナ感染拡大の状態が続き、昨対比はずっと低迷したままである。1、2月は降雪も多く、外出そのものを避ける傾向にあったと思われる。
	企業動向	坂井	繊維関連	良くなってきている部分もあるが、コロナ渦の中での制限や原料の高騰もあり先行きが不透明なため。
		福井	眼鏡関連	天候不順の影響が多少あったが、その影響が落ち着くと売上も来場者も伸びてきた。
		丹南	電気機械関連	受注は減少しているが受注残は高水準であり、今後の顧客要求に応えるために在庫積み増しの必要があるため、工場はフル稼働を続けている。
		福井	化学・プラスチック関連	半導体不足や世界的なコロナ感染拡大による輸送遅延、原材料費高騰等で、引き続き厳しい状況が続く。
	雇用	丹南	労働相談員	新型コロナの感染拡大が続いているが、状況に変化は感じない。
		福井	学校就職担当者	全国的にオミクロン株が流行したが、高校生の雇用に大きな影響を及ぼしていないと感じている。
		福井	ジョブカフェ担当者	福井県内全体では、求職者数がほぼ横ばいの中で求人数が若干減少傾向にあることから、有効求人倍率は5か月連続で減少しているが、全国的には23か月連続で1位を維持し、依然として高い水準にある。
④やや悪くなっている	家計動向	奥越	百貨店、SC等	コロナの感染者が急増し、来店頻度が落ちているのに伴い、売上の落ち込みがある。
		坂井	スーパー	コロナ第6波が本格化し、感染対策の意識から外食を控えて家で食べる需要が高まっているが、レトルトや冷凍食品といった質素な商品の需要に留まっている。
		嶺南	飲食関連	コロナと世界情勢の影響もあるのか、物価の上昇が止まらない。
		福井	サービス業関連	新型コロナオミクロン株の影響でイベントを開催しても来場客が少なく、受注も伸びていない。
	企業動向	丹南	繊維関連	燃料・材料仕入価格の上昇により収益が圧迫されている。
		丹南	眼鏡関連	コロナ禍の急激な拡大で、消費者の流れが悪くなった。
		嶺南	食料品製造関連	コロナ感染拡大で観光客が減少していて、販売品の売上げが立たない。
		福井	銀行等金融関連	オミクロン株による感染拡大が経済活動の動きを鈍らせ、個人消費の持ち直しを妨げている。また、エネルギー価格や輸送コストの上昇、半導体不足の長期化が加わり幅広い業種にとって収益の下押し要因となっている。
⑤悪くなっている	家計動向	丹南	商店街	コロナ第6波で来店者数が激減し、売上が低迷している。
		嶺南	商店街	1月半ばから飲食店や物販店等の消費の動きが止まった。併せて近隣府県、大都市圏でのまん延防止措置による影響が甚大。
		福井	一般小売店	オミクロン株の感染が急拡大して、不要不急の商材である家具の購入は控えられた。天候も依然として冬型で、降雪の影響で客足が増えない。
		福井	百貨店、SC等	オミクロン株の収束が見えず、客数に影響していることに加え、スタッフのシフトにまで影響している。
		福井	コンビニエンスストア	コロナ禍も落ち着かず、天候も不順。外部環境に泣かされており、来客数減となっている。
		坂井	観光関係	コロナ感染状況の高止まりにより予約がキャンセルとなることが多く、新規予約が例年の様には発生してこない。
	企業動向	福井	商社	原油高で補助金も足りなくなり、値上げを行った。コロナとのダブルショックで販売量が大幅減となっている。
		丹南	食料品製造関連	オミクロン株の拡大により、観光部門の売上が落ち込んでいる。

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなる	家計動向	嶺南	観光関係	5月からGoToトラベル等の施策が次々と実行されると思うため。
②やや良くなる	家計動向	坂井	一般小売店	コロナワクチンの3回目接種が進んで少し落ち着くと思う。
		奥越	百貨店、SC等	昨年の様に暖かくなって多少コロナの感染者急増が止まれば、またお客様の来店頻度が戻ると思われる。また、3回目の接種による感染状況の改善に期待している。
		坂井	スーパー	コロナ第6波も収まり、ワクチン3回目も進み、外出機会が増え消費も増えるのではないかと。
		福井	観光関係	まだまだ先が見えない状況ではあるが、都市圏の感染状況が少し落ち着いている感がでており、3月中旬頃には少し回復しているのではないかとと思われる。
	坂井	観光関係	感染者のピークアウトと3回目のワクチン接種が進むことで経済も動き出すと思われる。	
	雇用	嶺南	労働相談員	2～3か月後は、オミクロン株にも慣れ、会議などWEBからリアルタイムでの開催に戻り、市民生活もコロナ前と同じ水準に戻ってくると判断する。
	③変わらない	家計動向	丹南	商店街
	家計動向	福井	一般小売店	コロナが落ち着き、外出の機会が増えると購買意欲が上向くと期待しているが、現状はすぐには変わらないと予想している。
		嶺南	一般小売店	ワクチン接種が進めば少しはコロナウィルスも落ち着いてくると思われる。
		丹南	百貨店、SC等	新型コロナの影響について、まだ景気が上向く状況まで落ち着くかどうか先が読めないことと、物価が上昇傾向であることなどから。
		丹南	電気機械関連	半導体不足の長期化やコロナウィルスの感染状況等、先行きが不透明なため。
	企業動向	福井	化学・プラスチック関連	日本を含む世界的なオミクロン株による感染拡大で、個人消費はなかなか本格的に回復しないと思われる。
		福井	建設・不動産関連	感染症予防が功を奏したとしても、諸般の物資の値上げが顕著であるため景気が良くなるとは思えない。
		福井	ジョブカフェ担当者	福井県内において、有効求人倍率は当面は高い水準が見込まれるが、一方で、雇用調整助成金の特例措置が6月末まで延長されることで、さらに労働市場の硬直化が危惧される。
④やや悪くなる	家計動向	福井	一般小売店	「第6波」がピークアウトして、感染拡大が収まれば、春需要が少しずつ喚起されてくる。
		嶺南	コンビニエンスストア	旅行者を中心に移動が控えられる傾向になると思われる。
		福井	観光関係	数か月後の販売も見込めず、延期でなく、完全中止の案件が増えていると思われるため。
	企業動向	福井	観光関係	ウクライナ情勢により、物価、燃料費も高騰していく見通し。御客は減り、経費は上がるという状況。
		嶺南	食料品製造関連	コロナ感染で観光客が減少していて、しばらく見通しが見えない。
		福井	銀行等金融関連	感染の再拡大をうけ経済活動に制約が生じている。また、円安と原料の高騰が重なり、物価上昇が加速の様相。
		福井	運輸関連	オミクロンに加え、ロシアのウクライナ侵略の影響が出てくるのではないかと考える。
	雇用	嶺南	学校就職担当者	ウクライナ情勢が不透明で、世界中にどこまで影響するか分からないため。
⑤悪くなる	家計動向	嶺南	商店街	生活必需品が軒並み値上がりしていく中での消費活動はますます冷えていくと思われる。
	企業動向	奥越	繊維関連	原材料・エネルギー価格高騰によるコスト大幅増などの影響がより深刻に表れることが予測される。
		福井	商社	一層の原油高から価格転嫁の遅れと、経済の悪化からの購買意欲の減が予想される。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		52
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	5
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長	2
ドライブイン等		
	経営者・スタッフ	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	4
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		12
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	3
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県産業労働部産業政策課経済戦略グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)